



## “Program Update”



南アルプスを背景に飛行

### 飛行試験状況

飛行試験初期段階では、飛行高度、飛行速度を高めていくことが一つの目的ですが、MRJは最高高度 35,000ft (約 10,500m)、最大速度はマッハ 0.65 (250Kt、約 450Km/h) まで順調に進んできています。3月には初めて日本海上空での飛行試験や、随伴機を伴わない単独での飛行試験も行いました。最近の飛行試験では、緊急用発電機の動作確認や、片方のエンジンが停止した場合を想定した飛行能力の検証を開始するなど、飛行中の安全機能の確認を進めています。

### 疲労強度試験機

3月15日早朝、組立を完了した疲労強度試験機を技術試験場に移送しました。機体の強度を検証する地上試験のうち、疲労強度試験では離陸、巡航、着陸などMRJを運航する際に繰り返しかかる力を加え、機体の耐久性を確認します。先行している静強度試験は計画通りに進捗しており、今後、疲労強度試験も着実に進めていきます。



### 最終組立工場竣工

昨年1月に着工した最終組立工場が完成し、3月1日に竣工式を行いました。延床面積約 44,000 m<sup>2</sup>の建屋内は主に胴体結合・翼胴結合・尾翼結合を行う『構造組立ライン』と、エンジンや客室内装も含めた艙装作業を行う『艙装ライン』で構成されており、月産最大 10 機の生産に対応します。今後生産設備などを搬入して量産の準備を行い、今秋には量産機の組立を開始する予定です。また、工場内を見学できる施設の準備も併せて進めています。



艙装ライン

この工場で世界一流の航空機生産を目指すとともに、開かれた工場として地域のみなさんに愛される工場としていきます。